YHC5150X FieldMate ハンドヘルドコミュニケータ はじめに

概要

YHC5150X FieldMate ハンドヘルドコミュニケータ は、HART®規格のユニバーサルコマンド、コモンプラクティスコマンド、デバイススペシフィックコマンドを全てサポートするハンドヘルドコミュニケータです。

充電時の LED 表示

バッテリ充電時には、ドッキングステーションの LED ライトの色が、充電モードによって変わります。

オフ
– バッテリパックが未装着か電源が入っていません。

緑色の点灯
– バッテリの充電が完了しました。

アンバー色の点滅
– バッテリに充電しています。

アンバー色の点灯
– バッテリが充電可能温度範囲外です。

赤色の点滅
– バッテリの異常です。

赤色の点灯
– 充電の異常です。

バッテリパックの装着と取り外し I

NOTICE *バッテリケースを過度に締めないでください。（最大トルク０．７９N・m）*

NOTICE *最初のバッテリ充電は完全に充電（4.5 時間）してください。*

NOTICE *メモリを交換の際は、横河電機パーツ 1W-9P780 か後継パーツのみを使用し、必ず横河電機担当者の指示に従って下さい。 指定メモリ以外の使用は、安全の認証が無効になる可能性があります。*

WARNING ***ドッキングステーションでの充電は、本質安全防爆に含まれません。防爆エリア（危険エリア）内での使用しないでください。本体取扱説明書 IM 01R01A30-01EN の Control Drawing の“Hazardous Area Use”の部分を参照ください。***

バッテリの装着と取りはずし

バッテリパックは二つのネジ（7/64”六角レンチの 6-32 標準ネジ）で本体に固定されています。**バッテリケースのネジを過度に締めつけないでください。**

装着: 平らで安定した場所で、表示器を下にして、本体を置きます。装着スペース内のコネクタとバッテリパックを 1cm 程離して置きます。バッテリパックを装着スペースに沿って、コネクタが完全に接する様に、上にスライドします。ネジを留めて、装着が完了します。

取り外し:上記操作の逆の手順を実施してください。

NOTICE *バッテリパックには高性能な容量管理機能が含まれており、自律的に容量を監視しています。そのためバッテリパックの使用において、バッテリの初期化処理などは必要ありません。*

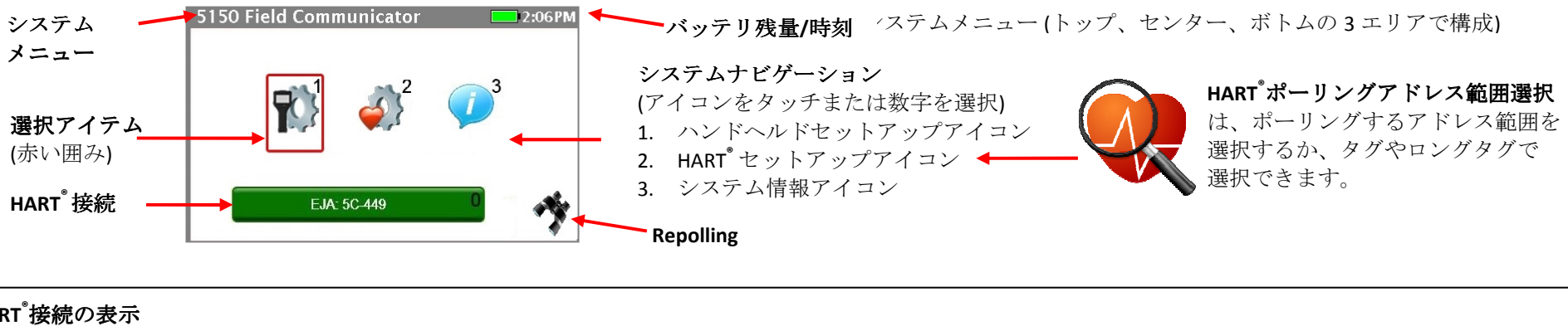
NOTICE *ドッキングステーションは、バッテリパック単体での充電をサポートしていません。正しく充電するには、バッテリパックをコミュニケータ本体に装着してからドッキングステーションに置いてください。.*

YHC5150X FieldMate ハンドヘルドコミュニケータの立ち上げ

電源ボタンを１秒間押して離します。約２秒後に、スプラッシュ画面が表示され、YHC5150X FieldMate ハンドヘルドコミュニケータのアプリケーションが起動します。

HART® 機器の接続

電源投入時に、メインシステムメニューが初期画面で表示されます。HART® メニューからもいつでもアクセス可能です。



HART®接続の表示

有効なポーリング範囲に機器が見つからなかったときに表示されます。コミュニケータは HART®セットアップで選択した HART®アドレス範囲をポーリングし続けます。もしポーリングアドレス範囲が一つで、機器の接続を確立した場合、他の機器へのポーリングを中止します。ポーリングアドレス範囲が複数のアドレスで、機器の接続を確立した場合、接続可能な機器を見つけるために、全範囲のアドレスをサーチし続けます。

ポーリング範囲に複数の機器が見つかり、どちらかの機器を選択しなければならないときに表示されます。黄色のアイコンを押すと、ポーリングアドレス範囲の全機器のリストボックスが表示されます。一度機器を選択して、“Accept”を選択すると、リストボックスが消えて、コミュニケータが接続を開始します。

選択された機器に接続を確立し、機器情報記述（DD: Device Description)を読みこんでいるときに表示されます。

通信が確立し、機器が HART®ネットワークに正常に接続したときに表示されます。コミュニケータは他の機器に連続して接続にいくことはありません。緑のバーを選択すると、コミュニケータはシステムメニューから、オンライン HART®メニューに移ります。

オンライン HART®メニュー - (SDC-625)

HART® 機器メニューは、HART® 通信可能な機器が接続され、HART®と通信できる時のみ、アクセス可能です。

HART® メニューの画面例（トップ、センター左、センター右、ボトムの４エリアから構成)

機器情報
製造モデル:
タグ情報

オンライン Hart®機器 メニュー

HART® メニューパスの ナビゲーション

バッテリ残量/時刻

システムメニューに戻る

ショートカット作成

コンフィギュレーション

ホットキー

機器ステータス

変更の実行

ユーザ作成のショートカット

NOTICE

ユーザ指定のフィールド(タグやロングタグといった HART パラメータ、ファイル名、ショートカットラベルなど)の部分は多言語対応による翻訳の対象外です。

NOTICE

*ホームメニュー(通常"Online"というラベル)をショートカットにすることはできません。メニューの１ページ目に続きがある(10行目に **0 –MORE-**がある)場合、２ページ目以降でショートカットを作成しても、１ページ目がショートカットとなります。*

その他メニューの詳細説明については、本体の取り扱い説明書をお読み下さい。

NOTICE *オンラインにおけるパラメータの変更を行ってから、変更の実行を行う前に設定の呼び出しを行ってしまうと、そのパラメータが保存対象だった場合に変更データは失われます。*

⚠ CAUTION ***爆発による重症や死亡に至る恐れがあります。HART® 端子で本質安全防爆モデルのハンドヘルドターミナルを接続する前に、接続対象の HART® 機器が本質安全防爆のフィールド配線慣行に従っていることを確認してください。***

注意: 防爆エリアにおける本質安全防爆機器の使用には、制限事項があります。本体取扱説明書 IM 01R01A30-01EN の Intrinsic Safety Control Drawing を参照ください。本体取扱説明書 IM 01R01A30-01EN の Intrinsic Safety Control Drawing は横河電機によって予告無く変更されることがあります。最新の Intrinsic Safety Control Drawing については、横河電機 (phone 800.888.6400)にご連絡ください。

本質安全防爆モデルの YHC5150X については、制限事項、使用上の特別な指示、許される電気接続について、本体取扱説明書 IM 01R01A30-01EN の Intrinsic Safety Control Drawing を参照ください。

⚠ WARNING ***本質安全防爆モデルの YHC5150X については、ループ内の機器が本質安全防爆のフィールド配線慣行に従っていることを、本機のループ接続端子をフィールド機器に接続する前に確認してください。本体取扱説明書 IM 01R01A30-01EN の Control Drawing の "Hazardous Area Use" の部分を参照ください。***

⚠ WARNING ***YHC5150X モデルに対する以下の警告および要件にご注意下さい:***

- *部品の交換は本質安全防爆を損なう恐れがあります。*
- *可燃物や爆発性雰囲気への点火を避けるために;*
  - *使用前に AC 電源から切り離すこと*
  - *ドッキングステーションを防爆エリアで使用しないこと*
  - *バッテリパックを開けてバッテリを交換しようと* ***しないこと***

安全上の注意

⚠ WARNING *バッテリを高温に晒さないでください。過熱、発火、破裂、爆発の恐れがあります。*

⚠ CAUTION *ドッキングステーションやドッキングステーションに挿入した YHC5150X に触れた際に感電した場合、すぐにドッキングステーションの電源をコンセントから抜いてください。 安全になったと判断したら、すぐに YHC5150X をドッキングステーションから取り外してください。*

⚠ CAUTION *ドッキングステーションや電源コードや AC アダプタに、変形や亀裂やその他の破損がある場合は、ドッキングステーションの電源を抜いて使用を中止してください。*

⚠ CAUTION *どの部品に対しても、分解や改造は行わないでください。故障や負傷の原因になる可能性、認証が無効になる可能性、保証が無効になる可能性があります。*

⚠ CAUTION *AC アダプタは直接コンセントに差し込んでください。延長コードを使用しないで下さい。*